

No.3

2004年  
2月15日発行



Shunan Gikai Dayori

# 市議会だより



## 主な内容

11月臨時会、12月定例会のあらまし	2P
議案の審議結果	3P
予算決算特別委員会、常任委員会	4P～5P
代表質問	6P～9P
一般質問	10P～14P
行政報告、市議会日誌等	15P～16P



11月臨時会  
12月定例会

# 一般会計補正予算、 市長等の給料減額条例など可決

〔議員報酬は、原案の10%カットで修正可決〕

## 11月臨時会の概要

11月21日に臨時会が開催され、諸般の報告に続き、議案（市職員の給与の引き下げ等）が提案されました。企画総務委員会審査後、本会議において賛成多数で可決しました。

## 12月定例会の概要

12月定例会が、12月1日から12月22日まで22日間開催されました。

競艇事業の不足金問題は、15年中に解決の方向が示される

初日には、市長から「周南市競艇事業に係る不足金調査報告書」についての行政報告があり、質疑では「発生原因が明らかでない」、市長は賠償責任を負わないということとで済ませているのか、「不足金をどう穴埋めするのか」「チェック体制は整ったのか」

などが出されました。その後、諸般の報告、一般会計補正予算など32の議案の提案、人権擁護委員候補者の推薦の採決等がありました。

2日目には「新南陽給食センター」所管の学校給食の中止」についての行政報告があり、初日に提案された各議案の質疑を行った後、各委員会に付託されました。

市長の給料3か月分減額などの条例提案、競艇事業の管理責任

12月3日・4日に10人の議員が代表質問を行い、5日、11日に34人の議員が一般質問を行いました。

11日の一般質問終了後、「日本ゼオン株式会社徳山工場に対する国の行政処分」「周南市ごみ燃料化施設の乾燥機における異常停止」についての行政報告があり、その後「市長等の給料カットの議案」提案と同時に、競艇事業の事務

にかかわった職員の処分の発表。「光市とのモーターボート競走施行事務委託廃止の議案」など3件の提案、質疑の後、各委員会へ付託されました。

議員報酬は、4月から「月額44万5千円の10%減額修正」を賛成多数で可決

19日の本会議では、議員報酬について、まず企画総務委員長が「月額44万5千円から10%減額する」という修正案が委員会可決したことを報告しました。その後、次の2件の修正案が提出されました。月額44万5千円で、期末手当を支給しない。月額44万5千円から、28%減額する。

採決の結果、委員長報告のとおり可決されました。他の議案も、各委員長の報告後、質疑、討論、採決を行います。すべての議案が可決されました。

最終日には、平成14・15年度の旧2市2町の決算認定議案8件が提案され、閉会中の継続審査となりました。また、議員提出議案の「イラクへの自衛隊派遣に関する意見書の提出」は、賛成少数で不採択となりました。

# 11月臨時会・12月定例会審議結果

## 【11月臨時会】

議案（賛成多数で可決）

一般職の職員との給与に関する条例等の一部改正

市職員の給与の引き下げ等

報告されたもの

損害賠償の額を定めることに  
関する専決処分

公用車が乗用車に接触した物  
損事故

例月出納検査の結果

## 【12月定例会】

議案（全会一致で可決）

交通災害共済事業特別会計補  
正予算

執行機関の附属機関の設置に  
関する条例の一部改正

まちづくり総合計画審議会の  
設置

報酬及び費用弁償支給条例の  
一部改正

期日前投票所を設置すること  
により、職名欄の投票管理者  
及び投票立会人を投票所と期  
日前投票所にそれぞれ区分し、  
支給額についても規定

鹿野資源ごみ保管施設設置条  
例の一部改正

条文中の「資源ごみ」を「資

源物」と変更する。

心身障害者福祉作業所設置条  
例の一部改正

周南市中心身障害者福祉施設「望  
みの家」が、身体障害者更生  
援護施設、小規模通所授産施  
設として、決定を受けたため  
「望みの家」を、条例から削  
除する。

準用河川管理条例の一部改正

占用料の一部改定による。

新南陽市普通河川等管理条例  
の一部改正

占用料の一部改定による。

建築物における駐車施設の附  
置等に関する条例制定

駐車場法の規定に基づき、建  
築物における駐車施設の附置  
及び管理について必要事項を  
定める。

過疎地域自立促進計画

鹿野地域の平成15、16年度の  
前期過疎地域自立促進計画を  
定める。

工事請負契約の一部変更

一般廃棄物最終処分場建設工  
事（鹿野地域）に係る請負契  
約の一部を変更する。（契約  
金額7億2975万円、7億  
6331万8500円）

字の区域の変更

ほ場整備に伴い整備後の土地  
に合わせた字界の変更を行う  
（鹿野地域）。

工事請負契約の一部変更

高尾住宅新築主体工事（鹿野  
地域）に係る請負契約の一部  
を変更する。（工期を16年3  
月25日までと変更、契約金額  
5億4390万円、5億  
4343万6500円）

訴えの提起をすること（3件）

市営住宅の建物明渡し等を請  
求する。

人権擁護委員候補者の推薦

中村恒愛氏、行村照子氏

民事調停

医療法人誠公会（下関市）に  
よる介護給付費不正請求にか  
かる債務弁済履行条件確認調  
停事件。

光市と周南市との間における  
モーターボート競走施行事務  
の委託の廃止

議案（賛成多数で可決）

一般会計補正予算

特別会計補正予算（11件）  
（国民健康保険、国民健康保険  
鹿野診療所、老人保健、介護  
保険、競艇事業、簡易水道事業、  
地方卸売市場事業、国民宿舍  
下水道事業、農業集落排水事業、  
駐車場事業）  
病院事業会計補正予算

廃棄物の減量及び適正処理等  
に関する条例の一部改正

「資源ごみ」を「資源物」と  
し、その所有権は市に帰属す  
ると宣言する。

分担金の賦課

熊毛地区の農地災害復旧事業、  
単県農山漁村整備事業及び小  
規模治山事業の実施に当たり  
受益者分担金を賦課する。

市長、助役及び収入役の給料  
の支給額の特例に関する条例  
制定

市長の給料を16年1月分から  
3月分まで10%カット。助役・  
収入役は1月分を10%カット。

議案（賛成多数で修正可決）

議会議員の報酬、費用弁償及  
び期末手当に関する条例の一  
部改正

16年4月から議員報酬を44万  
5000円とする案を10%カ  
ットする等。

議員提出議案（賛成少数で否決）

イラクへの自衛隊派遣に関す  
る意見書の提出

議案（継続審査）

一般会計及び特別会計歳入歳  
出決算の認定（14・15年度）

請願（新たに継続審査）

米「改革」を中止し、農家が  
意欲をもって稲作に取り組む  
ことのできる米政策の実現を  
求める請願

住居表示に関する請願

「治安維持法犠牲者国家賠償  
法（仮称）の制定を求める意  
見書」の採択をもとめる請願  
書

陳情（みなし採択）  
市議会議員報酬額の統一につ  
いて

市議会議員の報酬差別解消に  
関する陳情

陳情（不採択）

周南市市議会議員報酬の適正  
化に関する陳情

永住外国人の地方参政権確立  
のための意見書採択を求める  
陳情書

陳情（新たに継続審査）

保護者教育費負担軽減の補助  
金についてのお願

報告されたもの

損害賠償の額を定めることに  
関する専決処分

新南陽駅前広場駐車場におけ  
る物損事故

例月出納検査の結果

行政報告（4件）

・周南市競艇事業に係る不足金  
調査報告書

・新南陽給食センター所管の学  
校給食の中止

・日本ゼオン（株）徳山工場に対す  
る国の行政処分

・周南市ごみ燃料化施設の乾燥  
機における異常停止

## 予算決算特別委員会

12月定例会初日に一般会計、特別会計及び病院事業会計補正予算合わせて13件が提案されました。

市議会では全議員による予算決算特別委員会を設置し、審査は常任委員会ごとに分科会で行われ、審査終了後、12月19日に分科会主査が審査報告し、質疑の後、反対・賛成それぞれの討論があり、採決の結果、各議案は可決されました。

分科会・委員会の主な審査状況は次のとおりです。

なお、定例会最終日には旧2市2町の平成14年度、15年度（4月1日～20日）の歳入歳出決算が提案され、予算決算特別委員会に付託され、閉会中の継続審査とすることになりました。

### 企画総務委員会（分科会）

まちづくり総合計画審議会の設置では、人選について基本的な要綱のようなものは作るのかとの問いに対し、年代別や男女の比率や重複を避け

るという考え方も必要と思うので実施段階で考えていくとの答弁であった。

期日前投票所設置に伴う投票管理者及び投票立会人の報酬及び費用弁償支給条例の改正は全会一致で可決した。

議員報酬の在任特例2年間の残り1年間の旧徳山市報酬に統一の改正案に対し、期末手当を支給しない・報酬の28%カット・報酬の10%カット修正案が提出され、報酬の10%カット修正案が賛成多数で可決し、他は賛成少数で否決した。修正部分を除いた原案も賛成多数で可決した。

過疎地域自立促進計画（鹿



過疎地域指定の鹿野地域

野地域）では、15年度合併特別債を使う事業は何かとの問いに対し、CATV整備事業と一般廃棄物処分場建設との答弁であった。

光市と周南市との間におけるモーターボート競走施行事務の委託の廃止では、廃止に伴う諸問題について光市と協議の必要はないかとの問いに対し、協議し確認書をお互いの方でやっていくとの答弁であった。

市長・助役・収入役の給料10%減額（市長3か月分、助役・収入役1か月分）は賛成多数で可決した。

陳情1号の周南市議会議員報酬適正化は不採択、同5号の周南市議会議員報酬統一、同6号報酬差別解消はみなし採択となった。同3号の永住外国人地方参政権確立の意見書採択を求めるものは賛成少数で不採択となった。

一般会計補正予算では、消防本部のタンク類の検査、住民監査請求に伴う職員の時間外手当、臨時職員の賃金、公用車のリース内容の質疑があった。

企画財政部では、この補正で本年度中に全職員にパソコンが配置されるのかとの問いに対し、本年度末くらいにネットワーク管理環境ができる

との答弁であった。

また、企画費の地域審議会とまちづくり懇談会との兼ね合いはどうかとの問いに対し、懇談会は総合計画の策定に当

### 環境教育委員会（分科会）

廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正では、新南陽地域の雑誌の取り扱いはとの問いに対し、新南陽地域では、現在可燃ごみとして収集しているので、今回の条例改正には該当しない。自治会の人々が整理するために持つて行っても窃盗にはならないとの答弁であった。

例えば福祉施設の運営資金にするということで、アルミ缶をごみステーションで集め

たり提言をいただく。審議会には総合計画を諮問し、意見をいただき策定委員会で検討し基本構想や基本計画を作るとの答弁であった。

た場合はどうなるのかとの問いに対し、市が指定した日、場所、分別方法で出されたものは、指定業者以外が集めてはいけないことで徹底したい。各種団体等が集団回収等される場合は、別の場所に出していただくことを周知したいとの答弁であった。

工事請負契約の一部の変更（鹿野地域一般廃棄物最終処分場）では、請負業者が企業合併したが支障はないかとの問いに対し、契約当初、厳しい経営状況にあったことから業者の説明を受けた上で契約しており、現在も工事は順調に進んでいるとの答弁であった。

一般会計補正予算の環境生活部関係では、RDF施設の補修費がその都度補正されているが、年間修繕費として、当初予算に計上すべきではとの問いに対し、来年度はどのようにしたいとの答弁であった。



建設の進む鹿野地域一般廃棄物最終処分場

教育委員会関係では、幼稚園振興費の減額の理由はとの問いに対し、熊毛地域にある私立幼稚園が法人化試行園になったため、本年度から全額県費補助金に該当することになったことから、全額減額するとの答弁であった。

## 健康福祉委員会(分科会)

小・中学校費の難聴児の特殊学級改修工事は、工事内容に変更があったのかとの問いに対し、変更ではなく16年4月に新たに入学されるものがはつきりわかったため工事費を補正するとの答弁であった。

つた4名が更迭され前理事長、常務理事の資産は売却され前理事長夫妻の資産はなくなつたとの答弁であった。

心身障害者福祉作業所設置条例の一部改正では「望みの家」が小規模通所授産施設へ移行したことによるメリットはとの問いに対し、市の負担額が軽減するとの答弁であった。



授産施設へ移行した望みの家(岡田町)

民事調停については医療法人のトップに賠償責任が生じる。調停で話されたかとの問いに対し、不正事件にかかわ

る。一般会計補正予算では配食サービスは仕事をしながら老介護をする世帯には必要と思うが、その人たちは対象外になるのかとの問いに対し、高齢者の食の自立支援と心身虚弱高齢者の安否確認をし、速やかに対応するという2つの目的と身体の状況だけでなく本人を取り巻く環境など、総合的な状況を見て判断するとの答弁であった。

小・中 中学校費の難聴児の特殊学級改修工事は、工事内容に変更があったのかとの問いに対し、変更ではなく16年4月に新たに入学されるものがはつきりわかったため工事費を補正するとの答弁であった。

つた4名が更迭され前理事長、常務理事の資産は売却され前理事長夫妻の資産はなくなつたとの答弁であった。

## 建設経済委員会(分科会)

画策定についてはどんな内容の委託で、庁内でできないのかとの問いに対し、今後10年間の子育て支援の目標量を挙げ計画を策定するもので、庁内にワーキンググループを作り内容を検討している。2か年での策定予定で2700人を対象に調査し集計を業者に委託する。策定においてボリュームが大きく職員では難しいとの答弁であった。

準用河川管理条例の一部改正では、申請なしでの不法占用や占用料はどうなるかとの問いに対し、一般通路や個人の生活用の使用については徴収していない。徴収は営利関係の占用の場合で料金は安くするとの答弁であった。

建築物における駐車施設の附置等に関する条例制定では、一定規模以上の建築物に駐車場設置が義務付けられるが、土地確保が困難な場合は有料駐車場の確保でもよいかとの問いに対し、建築敷地から200メートル以内であれば可能であるとの答弁であった。

分担金の賦課では、熊毛地区の14件の小規模治山事業の

の答弁であった。

一般会計補正予算では治山費の中で夜市地区での工事の減額理由はとの問いに対し、関係受益者との協議の中で分担金の納入などの承諾が得られず工事ができなかったとの答弁であった。

国民宿舎特別会計補正予算では、賃金改定はしないという回答と人事院勧告の回答が同じ日に出ている。交渉の余地がなくなくなるがとの問いに対し、給与改定はその都度組合交渉を持ち、お互いの合意により決定しているとの答弁であった。

積み残しはなぜかとの問いに対し、県予算の中で採択基準があり一度に14件の採択は難しいとの答弁であった。

訴えの提起では、市営住宅の家賃滞納者が増えるが、滞納金額の少ないうちに訴え、強制退去などの対応はできないかとの問いに対し、徴収要綱を統一し、12か月または30万円以上の滞納者には提訴の方向で対処するとの答弁であった。



利用が望まれる国民宿舎「湯野荘」

# 代表質問

10会派の議員が登壇し、  
会派を代表して質問を行いました。

## 平成会

和田明信議員

新市建設計画及び総合  
計画の取り組みは

周南市は、これからどういう  
まちになるのか

和田 合併して7か月になる  
が、具体的に周南市は、いつ  
頃からどういうまちになるの  
か、また21のリーディングプ  
ロジェクトの優先順位は。

市長 新たなニーズや考え方



新たなまちの活性化を

など積極的に取り入れ、新市  
建設計画を包括、発展させた  
まちづくり最上位計画にふさ  
わしいものにしていきたい。  
駅周辺整備推進プロジェクト  
を設置し、重点的に取り組ん  
でいる。

これからの企業誘致や新たな  
まちの活性化は

和田 旧徳山サテイ、旧トポ  
スの大型店舗撤退後の空き店舗  
等の対応について、今後の企  
業誘致や新たな活動について  
の市長の考えは。

市長 中心市街地商店街での  
買物客も徐々に減少し、空き  
店舗も目立っているが、国の  
補助事業を活用しながら先導  
的な事業を計画的に取り組ん  
でいる。商店街をはじめ、関  
係各位からの御提案をいただ  
きながら取り組みたい。

第66回山口県国体誘致の取り  
組みは

和田 2011年に山口県で  
国体が行われる。周南市を全

国に発信するいい機会だと思  
うが、競技の誘致については  
どのような考えか。

教育長 28競技が国体準備委  
員会で15年度中に決定予定で  
ある。28競技のうち現有施設  
で開催可能なハンドボール、  
テニス等の競技を関係団体と  
合意形成を図りながら開催誘  
致するよう国体準備委員会と  
協議を実施している。

## 新政会

児玉研一議員

新年度予算編成の方針と重  
要施策は。競艇事業の改革は

児玉 新年度は合併後初の本  
格予算編成である。重点施策  
財政の見直し、行財政改革等  
の予算配分、重点性、効率化  
が望まれる。基本的な考えは。

市長 16年度の予算は新たな  
組織・機構のもと年間を通じ  
ての大変重要な予算編成であ  
る。

16年度はとりわけ「人 輝  
く都市、周南市の建設」を目  
指し、本市の財政力に見合う  
規模でのめりはりを考えた編  
成を進めていきたい。重点施



競艇事業の経営改革を

策についても、21のリーディ  
ングプロジェクトや新市建設  
計画に掲げた事業を積極的に  
推進していく。また、行財政  
改革についても、行政改革推  
進本部を庁舎内で立ち上げて  
おり、今後市民、学識経験者  
企業代表、市民団体等で構成  
する行政改革推進委員会を設  
置し、私をはじめ全職員が一  
丸となり取り組む。

児玉 新市総合計画の策定は  
急務と考えるが。

市長 市民と行政が協働して  
地域の発展を考えることを基  
本に幅広く御意見をいただき  
ながら今年中に素案を作り、  
議会にも報告し意見をいただ  
き、地域審議会などに示した  
上で16年12月議会に提案する。  
児玉 競艇事業の抜本的な経  
営改革が急務と考えるが。

## 菁政会

宮崎 進議員

平成16年度予算編成は

基本的な考え方は

宮崎 平成15年度の予算や事  
業は旧2市2町の引き継ぎが  
重点であったと考えるが、平  
成16年度は市長にとって、初  
めての予算編成である。その  
基本的な考え方は。

市長 周南市として実質最初  
の予算編成となることから基  
本方針として「人 輝く都市、  
周南市の建設」の実現を目指  
して本市の財政力に見合う規  
模でめりはりをつけていきたく  
いと今その体制を作っている。  
重点施策は何か

宮崎 市長は選挙で「挑戦し  
ます」「行動します」「時  
代を切り開きます」と公約さ  
れていた。平成16年度の施策  
にはその挑戦めいたものが幾

市長 将来に向けて市民に迷  
惑を掛けたくないような健全な事業  
運営に取り組み、具体的には  
損益分岐点の見直しや地域経  
済に及ぼす影響を踏まえなが  
ら方向を出していく。

つか出てくるのではと市民も議会も期待している。

市長 新市建設計画に基づいた県政発展をリードする元気発信都市の創造、これを基本目標に市民の皆様にごのまちに任んで良かったと実感していただけるように取り組むとともに計画に掲げた事業は着実に実施していく考えである。

特別参与は本庁に常駐を

宮崎 特別参与を本庁に常駐させて市全体の方針や事業決定に参画させるとともに、市長の手足となって市民の負託にこたえるべきと考えるが。

市長 特別参与は旧首長として豊富な経験と優れた行政手腕を新市の行政運営に生かし、私に対しても助言をいただき、



特別参与は本庁常駐を

今後本庁と総合支所とのパイプ役として地域振興のために一生懸命頑張っていたきたいと考えている。

その他「財源の見直し」についての質問を行った。

# 新世紀

神本康雅議員

まちづくり総合計画策定  
事務事業評価の導入に向けて

総合計画は、市民・行政の職員・議会が共有すべきだ

神本 計画策定に当たり、そのプロセスから、市民、現場の職員、議会が参加して、計画の共有が必要だ。さらに、具体的なものにすべきだ。

市長 市民意識調査やまちづくり懇談会で提言をいただき、市役所では、各所・各課で、ヒアリングを行い、現状と課題の把握を行っている。今年度中に作成し、議会や審議会には、早期に示したい。公表もしていきたい。

事務事業評価システム導入の取り組みはいかがか

神本 評価システムが、真に



係制の見直しを

効果が上がるようにするためには、職員の間で議論できる風土が必要だ。また、それを公表していくことが大切になってくる。

市長 市役所構造改革プランの中で、評価システムの導入を位置づけている。職員自ら問題意識を持って改革改善を実行していくことが必要。評価の結果を公表することで、説明責任を果たしたい。

縦割りの最小単位の係制の見直しを

神本 係制の見直しにより、事務量に応じて人を機動的に配置でき、一人が何役もの仕事をこなして、増加する事務量に対応し、結果として市民サービスの向上につながるのではないか。

# 至誠会

兼重 元議員

地域コミュニティ・競艇事業・組織機構件について

市長 担当課長の裁量によって、係の仕事に対応している。企画部門では係制を廃止し、担当制を取り入れている。それを普及させていきたい。

地域コミュニティと行政の対応は

兼重 自治会組織の現況と課題は何か、組織づくりは。

市長 周南市には自治会組織が980、加入率は86・4%。加入率の低下傾向が組織力の低下、活動の沈滞化につながっている。「共創・共生・協働のまちづくり」に自治会の力は不可欠であり、現在全市網羅の連合会組織の形成に努めている。

競艇事業の基本戦略は

兼重 収益事業としての構造的問題は、経営改善計画策定は、事業存続の考えは。

市長 事業の仕組みは売り上げの75%を払い戻し、5・

65%が法定交付金等、実質19・35%の薄利多売である。売り上げの減少、購買単価一人あたり1万4000円、一般リースは大半が赤字。運営体制・機械化の遅れ、賃金の見直しが出ていない。赤字を出さないよう健全な形で継続するかを視点に取り組む。いまだ全国的にも1兆2000億円市場であり、大胆な経営改善で利益を上げ一般会計に繰り出す努力をする。

組織機構のあり方は

兼重 定員管理基本計画策定は、人事交流、総合支所の位置付けは。

市長 11月12日に組織・定数プロジェクトを設置し、今後



地域コミュニティの場としての自治会館

5年10年をめどに組織・機構の見直しと定員の適正化計画を策定し、平成17年には新組織をスタートさせる。

## 日本共産党

形岡 瑛議員

福祉を「安易に高い水準に合わせるな」は容認できない

経常経費5%カットをする財政状況は

形岡 来年度予算編成で経常経費の5%カットの根拠となる財政状況、財政計画公表を。



福祉などサービスは高い方に調整を

市長 市税収入の落ち込みと新市建設計画で新たな事業、社会保障費の増大などで厳しい財政状況にある。財政計画は17年度初めに、まちづくり総合計画の実施計画とあわせて3年間の計画を示す。

合併前の約束を覆すものは容認できない

形岡 福祉など未調整事業の調整で「安易に高い水準に合わせるな」という方針を出したが、これは、合併前の「サービスは高い方に」合わせるという約束を覆すもので容認できない。

市長 現実を示しながら、健全財政を保つために、市民の理解が得られるように慎重に調整していく。

合併パブルを招く無駄な箱もの建設は見直すべきだ

形岡 合併特例債で建設事業を膨張させると合併パブルとなる。新市建設計画のうち、無駄な箱ものを見直すべきだ。

市長 新市建設計画は着実に実施していくべきもの。財政状況はしっかり考え、住民サービスに低下を来さないよう配慮していく。

熊毛の上水整備には優先して特例債を

形岡 熊毛地域の上水整備には、全市のな水道料金の高騰や財政負担軽減のため合併特例債を優先的に充たすべきだ。

市長 貴重な御提言として受け止める。

## 公明党

吉平龍司議員

新市の一体感を共有できるまちづくりを

駅周辺整備計画

吉平 JR徳山駅舎のバリアフリー化と南北自由通路の取り組みを。

市長 これからJR西日本と協議をしながら検討させていただきたい。

保育行政など子育て支援

吉平 入所待機児ゼロ作戦・クーラー未設置の環境格差是正と旧櫛浜西保育園を世代間交流の場としての活用を。

市長 入所希望者にこたえる定員見直しを検討する。クー



有効利用が待たれる旧櫛浜西保育園

ラー未設置は解消したい。旧櫛浜西保育園の活用については現在検討している。

高齢者対策

吉平 痴呆性老人への在宅・施設サービスとして発生予防・早期発見への保健・医療機関との支援ネットワーク受け入れ等総合ケア対策は。

市長 グループホームの整備促進や医療機関等との連携体制を考えている。

熊毛〱徳山西IC区間の山陽自動車有料道路の利用割引

吉平 国道2号線と県道他、朝夕の慢性的渋滞解消緩和策と沿道環境改善を。

市長 一つの手法として検討したい。

## 熊友クラブ

沖田秀仁議員

周南市の総合計画策定に当たって、各地区の現状把握を

旧2市2町の格差を是正し、市民に等しく行政サービスを

沖田 合併後7か月余りを経過し、16年3月には新市の概要が提示され、12月には総合計画が策定されるとのことだが、その前に市長として旧2市2町の現状と存在する格差について正しくされているか。

市長 調整中の項目もあり、旧2市2町の従来の制度統一が果たされていない部分があることも承知している。施設整備についても総合計画策定に際して考慮する。

駅前整備の構想は

沖田 徳山駅前整備に関して420万円の調査費を計上しているが、駅の機能と今後のあり方について市長の見解は。

市長 駅の利用者は昭和51年を最大として1日平均1万3812人、昨年度は1日平



均7306人と減少してきた。周南市の顔としてふさわしい駅前整備をするために、各種団体・委員会に検討していただいている。

行政の将来ビジョンを示せ

沖田 行政には大きく分けて統治的側面とサービスの側面の2面がある。今後は高齢者社会に向かって行政サービス需要はますます増大すると思う。

財政的にも外部委託を拡大し、NPO等にも役割を担ってもらい、協働社会に向かうべきではないか。

市長 市民一人ひとりを大切にする施策を実施する上で、外部委託を進めることは避けられず、NPOなどの育成を積極的に行う必要があると言える。



どう整備するのが徳山駅前

## 刷新クラブ

西林幸博議員

下水処理費用の均等化・林忠彦賞開催事業は

下水処理の均等化

西林 公共下水 農業集落

排水 合併処理浄化槽の受益者負担に差異がある。特に、合併処理浄化槽は、家の床面積と世帯人数から設置する槽が決められ、現状では維持管理費用が年間7〜11万円程度かかっている。よって、子供たちが独立し家族人数が減少しても高い管理費を払い続けなければならない。

また、公共下水と集落排水では、独居家族では公共下水の負担が高く、家族3人以上では集落排水が割高になっている。

同じ市内に住む市民は、同じ金額を納税しているにもかかわらず行政から受けるサービス（使用料など）に凹凸があることに疑問を感じる。

前記下水処理を担当する3職場で負担の均等化を検討できないか。

市長 ご指摘の受益者負担格



第12回林忠彦賞授賞式

差についてどのような手法でよいのか、担当にしっかりと研究させる。

林忠彦賞開催事業

西林 13回を迎える林忠彦賞について、写真界から評価されるように審査委員会の見直しなど抜本的な取り組みが必要ではないか。

教育長 このたび選考委員の任期制を導入し、また周南市と東京に設けていた事務局を周南市へ一本化するなど大幅な見直しを行った。賞の評価は、受賞者のその後の活躍にある。受賞後ますます写真界で活躍できる周南発信の写真家を送り出さなければならぬ。

## 成民クラブ

吉鶴 猛議員

中心市街地活性化

新市の当面の課題に行動計画

吉鶴 中心市街地の空洞化は大都市の深刻な問題だ。郊外大型店の進出は車社会、物流情報革命が背景にある。

134億円の投資で駅ビルを5階建に建て替え、バススタ―ミナル、南北自由道路、駅前広場を整備する計画であるが、実現可能な計画か。

市長 10数年前から数々の計画があつたが、財政を含め踏み出せなかつた。新市の誕生により市の特徴である港を生かし南北自由道路と市街地を結び、活性化に向け「徳山駅周辺整備推進検討委員会」で具体化を検討する。

次代の市民から評価される計画でなくてはならない

吉鶴 原案はバブルの時代に作られたものだ。社会も経済も大きく変容している。周南市の将来展望、あるいは実現可能性があるか疑問だ。仮にそれらの計画がすべて実現し

たら周南市は活性化するのか。

市長 なかなか難しい問題だ。方向性を出すのに悩んでいる。

当面の新市の行動計画が必要

吉鶴 総合計画、行政改革大綱策定は1年先である。当面の行動計画を示し市民、職員が情報を共有し課題に取り組む重要な時期である。

市長 そのように考えている。そのため「市役所構造改革プラン」を策定する。

吉鶴 計画作成、実行、検証のサイクルを作るには財源、達成年度を明示する実施計画書の作成と公表が不可欠と考えるが見解を。

市長 実施計画を作成し、検証できるシステムを作る。



徳山駅南北自由通路は実現可能か

# 一般質問

紙面の都合上、数多くの質問の中から一部を取り上げ、質問、答弁の要旨を記したものです。

## 情報化の推進は

**上田 悟議員**  
上田 日本インフラで唯一取り残されていたデジタル放送が開始、周南市ではケーブルテレビのエリア拡大事業が進んでいる。これを生かした情報化の推進は。

**市長** 国の新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業の補助制度を活用しており、全地域新年度中完全実施は無理。高い情報伝達力を持つメディアの特徴を生かし、また、電子自治体構築に欠かせない通信基盤と位置付けして、研究し取り組んでいきたい。

## 新たな交流拠点は駅南に旧2市2町の文化財マップを

**橋本誠士議員**

橋本 新幹線・フェリー・バス等海陸交通の結節点である



美術館・記念館に旧2市2町の文化財展示を

駅南地区に、コンビニートを擁する市の特性を生かした産業交流会館施設の促進は。

**市長** 私も県の交流拠点施設は駅南がふさわしいとの考え方。交通の要衝である駅南地区への誘致を県に働きかける。

**橋本 美術館・記念館の常設展示室に旧2市2町の文化財展示、周南市の文化財マップを作成しては。**

**教育長** 可能な文化財は展示し、文化財マップは作成する。

## 入札制度及び老人デイサービスセンター建設計画

**石丸鉄郎議員**

**石丸** 条件付き一般競争入札及び電子入札導入の見通しはどうか。

計画のある福川地区老人デイサービスセンターを長田地区に建設できないか。

**市長** 平成16年度中に、地元業者の育成・保護にも配慮しながら入札制度を構築し、電子入札も今後検討する。

施設の設置及び運営主体等に不確定な部分もあるが、整備する際には、長田地区も含めて検討する。

## 中心市街地の活性化、道路公園の美化、憩える場所は

**倉住 栄議員**

**倉住** 周南市の玄関口駅周辺の再開発について、景気は上向いたと言われており、活性化を展開すべき決断を示すべ



道路公園の美化を

き時期であると思うが。

**市長** 整備調査費用を組んでいるが、国・県や特にJRに協力してもらい、将来市民に負担がかからないように一生懸命良いものを作り上げたい。環境問題についてはモラル向上と郷土を愛し一人ひとりの環境に対する意識の啓発看板を設置、広報等を通じ美化の輪が広がるよう努力する。

## 福祉行政の今後のあり方は

**中邑典誠議員**

中邑 少子高齢化が進むにつ

れ行政として対応できない状態が近い将来必ずやって来る。既に措置から支援に、施設介護から在宅介護へと諸制度が改正されてきた。これからは地域の時代で行政と一体化し、在宅支援事業に積極的に取り組むために地域自治会を中心としたケアシステムづくり促進に取り組みむべきと思う。

## 中小企業施策 新南陽市民病院 環境問題対策

**木原正太郎議員**

**木原** 中小企業が今一番求めている施策は、自治体としての救済策は。市民病院の基本理念は、診療科目の充実の検討を。環境問題として猫や犬のふん放置、空き缶・空き瓶・たばこの吸い殻・ごみなどのポイ捨てにおける市民道徳の向上のための対策を。

**市長** 今後も中小企業の活性化を図るために支援制度の充実に努めたい。市民に奉仕する医療を心掛け一層努力したい。市民の協力をいた

色覚バリアフリー・健康増進法・市斎場(ペット・故人)

森重幸子議員

森重 色覚障害の実態と対策 健康増進法「受動喫煙」

新南陽斎場利用の拡充

市長 色覚障害者の実数の把握は困難。発刊物等今後配慮する。教育現場での対応は適切に配慮している。健康増進は旧2市2町の行動計画を実施する。公共施設の受動喫煙対策は今後も努力推進する。部長 葬祭会場増設については現在利用が半減しており増設しない。ペットの斎場利用については激増しており3通り考えているが、当面は無理。



新南陽斎場にあるペット火葬施設

熊毛地区水道問題、国道2号4車線化、福祉バスについて

久保忠雄議員

久保 さきの議会で15年度中に県の事業再評価委員会に光

地域広域水道企業団をかけるとの説明で、一歩前進かとの思いが16年度に先送りされた。その経緯を市長に聞く。

市長 2市3町からなる中山川ダムを取水源とする水道事業は、それぞれの市町の合意形成がなされていない。

久保 合意形成は周南市を除いてはなされているとの現状認識を持つが、市長の見解は市長 2市3町が力を合わせて問題解決に当たりたい。

行政の要求する人材・環境保全理念・周南方式の教育

小林雄二議員

小林 産学官連携の専門性のある技術者が必要では。

市長 資格・技術を生かした人的配置を取り組んで行く。JABEE認定を受け、取り組むことは大変評価できる。

小林 循環型社会に向けた環境理念とリサイクル構想は。市長 新たなリサイクルプラザ建設構想を柱に据え、基本

理念を持って取り組む。

小林 周南方式の教育は。

教育長 地域への果たす役割を認識し、情報発信と特色ある教育予算の確保に努める。

有線テレビ普及への基本姿勢は

炭村信義議員

炭村 有線テレビを市内全域に張り巡らす事業で6月定例会での説明と9月定例会での他議員の一般質問への答弁内容が異なっている。

執行部内の統一方針を6月定例会説明通りに、市内全戸が基本的には利用できるようにすべきであるが、市長の見解は。

市長 6月定例会での説明に若干言葉足らずがあり、できるだけ多くの方が利用できるよう努める。アンケートを行い希望を聞く。

平成16年度予算編成の基本方針と合併特例債の発行は

広本武生議員

広本 予算編成の基本方針をどのように考えているか。

市長 「人 輝く都市周南市の建設」これにしっかり目を

はせて、めりはりのついた予算を部課長に協議させている。

広本 合併特例債の発行額とリーディング事業の着手は。

市長 財政運営上有利な場合は充当する。事業は国際交流事業や子育てのサポート事業なども実施したい。

その他「商工中小事業者への支援対策」の質問を行った。

上水道計画、下水道計画、配食サービスの打ち切り行政は

伴 凱友議員

伴 光広域水道事業の今後は。



巨大な釣堀と化している「中山川ダム」

市長 中山川ダムについて県の再評価委員会にける作業を進める。熊毛地区水道の水源についてはまだ決まらない。

伴 遅れている下水道計画について、費用も期間もかからず、地元業者の仕事にもなる個人の合併処理浄化槽に補助金を増やして進めてはどうか。

市長 今後、研究・検討する。伴 配食サービスの打ち切り行政をやめるべきだ。

市長 対象者個々の調査の中で対応を考えたい。

区画整理事業 不登校児のための学校づくり

藤井一宇議員

藤井 区画整理事業の進捗、対応状況及びまちづくりはどうか。

市長 3地区の平均進捗率は33%ぐらいで、事業計画に沿って個別に協議しており、今後は、関係地権者と協議しながらまちづくりを進めたい。

藤井 不登校児のための学校づくりはできないか、また、取り組めないか。

市長 不登校児生徒への対応については、適応指導教室生徒を対象にした自然の中で触れ合いを深めたりする事業に取り組んでいるが、不登校児

のための学校づくりは現状では難しい。

わんぱく船、花壇コンクールの再開を望む

岸村敬士議員

岸村 情操教育に大変効果のあるわんぱく船、花壇コンクールは至急再開すべきだ。

教育長 わんぱく船はより中身を充実させ再来年から、花壇コンクールは来年再開する。岸村 先生の転勤にスポーツ特技を生かした教員配置ができてない。静岡国体で山口県は最下位になった理由の一つに挙げられると思う。

教育長 適正な人事配置に努めているが、より一層努力する。県教委にもこのことは伝える。

介護保険制度の課題と問題点  
在宅介護に現金給付を

多田道馨議員

多田 介護保険の先進国ドイツでは82%の人が現金給付を受けている。日本でも制度の効率化と市場原理に沿ったサービス向上のため、現金給付はできないか。

市長 この問題は重要で、現



建設中の介護老人保健施設のイメージ図(新南陽地域)

在、17年度の制度見直しの中で国の審議会介護分科会で論議されている。注視したい。

その他「建設中の老健施設」「特養入所希望者の急増対策」「介護保険料の歯止め」について質問を行った。

たくましい周南っ子の育成策  
のために

一原英樹議員

一原 市長は常々教育の大事

さを力説されるが、弾力性ある別枠予算を組んで「子どもたち」のために遅れている教育施設整備を早急にする。また、学校図書館の充実と司書の全校配置をすべきだ。また、スポ少指導者に対する支援や認知などソフト事業に力を入れるべきだ。

市長 教育が一番大事なことで考えているが、厳しい財政事情の中で多くの事業を抱えており、ゼロからの予算見直しでめりはりをつけたい。

学校給食業務は、行財政改革の一環として民間委託へ

米沢痴蓮議員

米沢 合併の目的の一つは行財政改革の推進である。改革には痛みを伴うが、保護者や組合の理解の中で、学校給食業務は民間委託すべきでは。

教育長 経費面を考えると、五つの給食センターの統廃合を考えざるを得ない。社会情勢や将来を見通し、どんな施設、センター運営がよいのか民間委託も視野に検討したい。

その他「ゆとり教育と学力低下問題」について質問を行った。

福川駅駐輪場整備、市長は住民の声を耳を傾けよ

中村富美子議員

中村 福川駅前の自転車数は11月25日では201台であった。車の通行障害や、強風による将棋倒しなど無残な光景を、日頃から地域住民は目の当たりにしている。福川の玄関口とは言えないと言う。駅西の市有地に駐輪場整備を。市長 福川駅周辺整備事業の一環で考えたい。

中村 新南陽総合支所長の答弁では、1000万円あればできるという。早く整備を。市長 吉村特別参与とも相談させていただきたい。



福川駅西に駐輪場整備を

公共施設管理運営の民間委託

松永正之議員

松永 今まで公共施設の管理運営は、自治体直営が原則であったが、自治法の改正で、民間企業の参入が可能になった。民間の経営能力や柔軟な発想による、住民サービスの提供が期待されているが、民間委託・NPOへの委託をどのように考えているか。

市長 大変有効な手段だと考えている。今後、積極的な活用に向けての方策を考えていきたい。

住民本位の行政のあり方  
説明責任と透明性であるべき

村上秀夫議員

村上 競艇事業不足金に係る調査委員会の最終報告がされた。市長は27才から市議、議長を歴任され、議会の職責である財務のチェック機能はどう働いたか市民は思いをはせている。行革で説明責任と透明性を第一に考えているなら調査を司法の手に委ねては。

市長 現在の調査で十分で司法による調査は考えていない。

その他「障害者・高齢者福



振替休日に不燃ごみも収集対象に

社」「防災計画」についての質問を行った。

合併時に未調整であった各種事業について早期に統一を

#### 田中和末議員

田中 ばらばらとなっている住民負担・行政サービスなど103項目についてサービスの平等、一体感の醸成を図るために早期に調整すべき。市長 現在31項目の調整が済んでいる。行政会議でできない各種団体との協議について難しいものもあるが、目標年次を定め鋭意努力したい。田中 振替休日のごみ収集について不燃ごみも収集対象に

市長 徳山区域のみ曜日指定としている。今後、他の方式で対応し、検討したい。

計画行政の推進＝合併特別債の使途はどうあるべきか

#### 吉木正實議員

吉木 周南市の中心徳山は裕福なまちとして知られてきたが、その反面で「大徳山殿様財政」に陥ってきたのではないかと。今後のまちづくりには計画行政が不可欠である。合併特別債の使途の限定及び基金への積み立てを提言したい。市長 新市発足後の新規事業のみに使途を限定するのではなく柔軟な形で対応していきたい。財政状況が厳しい環境にあることは知っている。基金としてということについては、少し研究させてほしい。

産業会館への取り組み  
徳山駅周辺整備計画

#### 中村秀昭議員

中村 県事業の産業会館構想が本市及び周南地域の活性化・地域振興に真に資するためにも、本市独自の構想を立案すべきだ。徳山駅周辺整備計画は単なるリニューアル

事業でなく「駅ビル・市役所化（民間企業等も入居）構想」をも視野に入れた中・長期的な計画にすべきだ。市長 は全庁的プロジェクトとして、は南北のアクセス、中心市街地、御幸通りのグリーンを生かし先進性のある計画をまとめたい。

職員の退職金及び特別昇給の見直し

#### 友田秀明議員

友田 平成15年度から10年間で退職金は約140億に上がり、基金もなく大きな負担となる。また職員全員にある3号給の退職時特別昇給も今の財政状況を考えると見直す必要があると思うがいかがお考えか。市長 退職手当の見直しは重要事項と認識している。特別昇給についても、メスを入れなければいけないと考えている。職員の給与格差の是正を最優先とし、その中で考えていきたい。

知的障害者福祉の充実を

#### 福田文治議員

福田 障害者の方へのホーム

ヘルプサービス（本市利用者79名）は今後も対応できるか。

市長 対応していく。福田 福祉作業所利用者の就労の場の拡大はできないか。市長 就労の場の確保ができるよう対策を考えたい。福田 作業所分配金について市独自で支援できないか。市長 福祉作業所のみでは、公平・公正の観点から困難。福田 デイサービスセンターが開所するが体制は十分か。福祉事務所長 順調である。

総合支所機能の充実

#### 中津井求議員

中津井 総合支所が沈滞化し



早期改良が望まれる呼坂仏坂線（熊毛地域）

ている。組織の見直し改善が必要では。

市長 総合支所は地域のニーズにこたえる大切な役目がある、総合支所のあるべき姿を検討し、人事交流を進める。中津井 児童クラブの指導員の採用は。市長 嘱託職員として採用。中津井 市道勝間中村線・呼坂仏坂線の工事進捗状況は。市長 勝間中村線は調査し適切に対策を講じる。呼坂仏坂線は未改良部分に取り組み。

交通弱者対策としてのコミュニティバスの早期実現を

#### 吉光一枝議員

吉光 交通弱者対策が急がれる。アンケートで要望を十分に聞き、コミュニティバスなどを早急に整備すべきでは。市長 路線バスとの役割分担、運営費で財政負担が大きいなど問題があるが、今後の課題として取り組んでいきたい。吉光 旧熊毛町議会で決議もされ、交通弱者対策を考える懇談会での提言も出ている。まず、熊毛地区に導入を検討してはどうか。企画財政部長 総合計画の中で考えていきたい。

## 子育て支援

## 橋本憲江議員

橋本 次世代育成行動計画は、市長 ニーズ調査を実施。協議会で独自案を策定する。

橋本 保育所の定数見直しで受け入れ体制の拡充を。

市長 定数の見直しをする。橋本 放課後児童クラブ拡充。

市長 土曜日の実施。5時半まで。未設置校は検討。養護学校のクラブは協議。

橋本 乳幼児医療費助成制度の拡充を。

市長 来年度から未就学児まで助成する。所得制限撤廃は

検討する。

銀行借入において入札等に有利な利率の引き下げは可能か

## 福田健吾議員

福田 財源が不足している状況の中、銀行借入の利率を下げることでの他の財源に充当できるのではないかと入札の利点は利率を下げることでなく、融資する側に市が借入のために事業の説明責任が伴い、透明性と適正化が浮き彫りになる。合併特例債を考えると非常に重要ではないか。

市長 競争の原理に基づく入札は公開性からも有効である。是非とも前向きに研究し、検討する。相手方とも更に取り強く交渉していく。

周南さわやか会の倉庫建設補助は周南3市で検討

## 宮崎 隆議員

宮崎 競艇事業の不足金の責任は。また大入袋はいつごろからあったのか。

市長 現金預金残高と帳簿書類との照合がされていなかった。補てん方法は15年中に決め、職員の処分も適切に対処する。大入袋は売上により2

00円程度を職員に、300円程度を従業員に支給していたが、51年、46年に廃止した。宮崎 周南さわやか会の訪問事業に助成を。

市長 今後も支援体制を強化するため国県に要望していく。

## 配食サービスの調整方法は

## 藤井直子議員

藤井 料金は安い方に、今受けている人を切り捨てないよう調整すべきではないか。

市長 料金は調整中であるが週14食とする。食の自立支援、安否確認を目的とするので、自炊できる人や、子どもと同じ居している人は対象としない。

藤井 配食サービスを止めたら、在宅介護が続けられない世帯もある。

福祉事務所長 他の最善の支援を考えていく。

介護保険制度改正の課題  
救急医療体制の拡大

## 金井光男議員

金井 在宅支援強化のために「地域包括的ケアシステム」の取り組みが必要では。

市長 在宅でも365日24時間の安心が提供できるように

小規模多機能ホーム等の取り組みは必要と考える。

金井 救命士の気管挿管が平成16年7月から認められる方向だが本市でも実施可能か。

消防長 現在必要な知識・技能習得等、条件整備のための病院実習について、検討協議がなされている。認められれば早期に実施したい。

## 教育予算を充実せよ

## 中原重之議員

中原 学校の図書費など、教育費が県内の他市に比べて低い。十分な予算を。

教育長 県内比較で十分でない。

い。配慮するよう努力するが特に図書費が欲しい。

中原 新南陽地区の学校に配置されている職員は引き続き配置し、この制度を全市に教育長 新年度も引き続き配置する。市全体については研究したい。時間が欲しい。

その他、学校施設の改善・充実や需用費の充実を求めた。

周南市において地方分権がもたらすメリットはあるのか

## 反田和夫議員

反田 平成11年地方分権一括法が改正されたが、この法律の改正で果たして周南市にどのような影響があるのか。

市長 これまで国県市と分かれていた開発行為、また、用途廃止などの各種申請手続きにおける行政窓口が今後は一本化され申請者に負担軽減と処理の迅速化が図られる。これからもしっかりと取り組みをさせていきたい。



児童クラブの拡充を



学校の図書費に十分な予算を

# 行政報告

(要旨)

## 競艇事業不足金の調査結果について

不足金発生の時期の特定については、平成3年、平成4年及び平成11年、不足金が生じていると推測される担当者のメモが存在するが、不足金発生の時期を特定するまでの確認資料とはならなかった。また、払い戻し・返還金と精算書の不一致が発見されたが、必ずしもすべての関係帳簿書類が存在するわけではないことから、発生時期の特定には至らなかった。

不足金の額の確定については、522万5535円を不足金の額と確定する。

不足金発生の原因の究明については、執務概要による過日分払い戻し金などが資金前渡口座より支払われているが、当日の払い戻し・返還金にかかわる資金前渡精算書と合計で4件、368万3820円の不一致など、事務処理上のミスが見受けられる。また、平成7年度以前は、資金前渡金と売上金が一つの口座で処

理されている。これら競艇事業の出納管理が十分なされていないことが、さらに現金預金残高と帳簿及び関係書類との照合がなされていないことが不足金発生の要因と考えられる。ただし、原因を特定するまでには至らなかった。なお、職員の横領を推測する事実は認められなかった。不足金発生にかかる責任の所在については、不足金発生の原因が特定できないことから、特定の職員への損害賠償の請求はできないと解する。

しかし、不足金発生の要因として出納管理及びチェック体制の不備は明らかであり、競艇事業の出納にかかわった職員は善良な管理者の注意を怠ったものと認められる。よって、出納事務における職員の管理責任、社会的・道義的責任の処遇については、市側の判断に委ねたい、との報告でありました。

次に、改善策であります。1 点目として、現金の動きが止まることのないため、日々の現金の確認が困難なことから、書面を主体とした精算にならざるを得なかった、とあるが定期的に現金出納簿と預金通帳、現金残高との照合・点検を行う体制を整える必要がある。

2 点目として、現金出納簿が作成されておらず、また執務概要もレース開催日のみの作成であり管理帳簿及び書類の整備、見直しの必要がある。3 点目として、不足金が存在するかもしれないということが担当レベルのみで認識され、上司に報告されていないことが、発見を遅らせた要因である。管理運営体制に問題があったと判断され、見直しの必要がある。

4 点目として、制度上のチェックシステムは存在するが、それが十分に機能していない過失を起こさない体系上のチェックシステム及び決算制度の構築を検討する必要がある。

1 点目として、総括的に現金を管理する出納簿を作成し、定期的に現金実査と帳簿の照合を行う。

2 点目として、非開催日も執務概要を作成し、決裁事務処理の対象とする。

3 点目として、複数存在する資金前渡金をできるだけ集約し、前渡金の金額を大きくし、精算時期を限定する。

4 点目として、問題点、改善事項の進言及び提言が自由にできる体制とする。

5 点目として、資金の収支のみでなく残高のチェック、

監査のできる決算及びチェック体制とする、という指摘がありました。

調査委員会の以上の調査結果につきましては、厳粛に受け止め、改善策など実施可能なものについては即時対応するとともに、二度とこのような事態を起こさないよう事務処理体制の整備を進め、市民の信頼回復に全力を挙げて参ります。

## 日本ゼオン株式会社徳山工場に対する国の行政処分について

11月21日に、国より「認定保安検査実施者」認定取り消しの行政処分が行われました。この行政処分は平成10年度から14年度において自ら行う高圧ガス設備の保安検査の際、認定を受けている施設について、法令により実施することとされている緊急遮断弁に対する保安検査の一部を実施しなかったにもかかわらず、山口県知事に対し検査が適正に実施されたとする虚偽の報告を行ったためになされたものです。

市の対応ですが「公害防止協定の遵守」「市民あるいは市との相互信頼を損なうことがないように」「環境保全対

策に万全を期すこと」等について、強く要請するとともに、市と日本ゼオン徳山工場で締結しております「公害防止協定書」の規定に違反するため「改善指示」をし、周南市環境審議会へ報告することといたしました。

## ごみ燃料化施設の乾燥機における異常停止について

去る12月1日、午前7時37分、中央管理室から乾燥機設備の通常運転を開始したところ、7時56分、通常運転時、145 から185 の温度範囲で運転される乾燥機の出口温度が急激に上昇し、自動停止設定温度250 を超えたために、乾燥機が自動的に停止しました。

メーカーと連絡を取り、検査点検を行い、試運転の結果、煙、水蒸気の発生など、異常が認められませんでしたので、午後1時9分に全工程を稼働し、運転を再開しました。

その他に新南陽給食センターに設置してあるロータリー食器消毒保管庫の使用不能(ペアリング損傷)による学校給食の中止について報告がありました。

# 行政改革研究会報告

議会として進めている「行政事務のIT化の推進」について、4回の研究会を開催しました。主な研究結果の概要は以下の通りです。

市内LANを早期に整備し、市民が直接利用できる公開サーバーの充実と実効性を高めるなど、IT化を大胆かつダイナミックに推進する。推進本部は従来の縦割りで

は、横割りの全庁的な組織とし、有能な人材を登用し大幅な権限を与える。

IT化と文書管理及び個人情報保護条例は、表裏一体のものである。早期に全庁ファイルシステムを完成させるとともに、文書管理公開条例の整備が必要である。

また、IT化の進展に対応できるように適宜、市役所組織の見直しと職員の意識改革・研修に努める。

実施計画及びその進捗状況

また事業評価等の取り組みが市民にわかるよう公表する。議会はトップの意識喚起をアピールし続ける。

エネルギー、メンテ等を考え、現在使用している機種についても最先端なものに更新し、最新のシステムを導入する。

本庁IT化は急速に進んでいるが、次の段階に進めるためには明確な将来像が必要であり、内部で十分協議・決定するとともに、市民に公表し実施していく。

## 議会日誌

### 11月

- 4日 愛媛県小松町議会行政視察来市
- 千葉県松尾町議会行政視察来市
- 5日 愛知県刈谷市議会行政視察来市
- 5日~7日 環境教育委員会行政視察(半田市、諏訪市)
- 建設経済委員会行政視察(立川市、御殿場市)
- 6日 岐阜県中津川市議会行政視察来市
- 10日 三重県亀山市議会行政視察来市
- 10日~12日 建設経済委員会行政視察(掛川市、藤枝市、神戸市)
- 11日 埼玉県川本町議会行政視察来市
- 愛知県音羽町議会行政視察来市
- 11日~13日 環境教育委員会行政視察(大和市、市川市、東京都千代田区)
- 12日 宮崎県延岡市議会行政視察来市
- 熊本県大津町議会行政視察来市
- 13日 全国市議会議長会評議員会(東京)
- 群馬県太田市議会行政視察来市
- 岡山県井原市議会行政視察来市
- 13日、14日 鳥取県鹿野町議会行政視察来市
- 14日 議会運営委員会
- 17日 青森県弘前市議会行政視察来市
- 静岡県磐田市議会行政視察来市
- 佐賀県諸富町議会行政視察来市
- 18日 愛媛県伊予三島市議会行政視察来市
- 石川県七尾市議会行政視察来市
- 19日 全国競艇主催地議会協議会役員会・臨時総会(東京)
- 21日 本会議(臨時会)
- 26日 議会運営委員会
- 行政改革研究会
- 26日 企画総務委員会

### 12月

- 1日 本会議
- 2日 本会議・予算決算特別委員会
- 3日、4日 本会議(代表質問)
- 4日 議会広報編集特別委員会
- 5日~11日 本会議(一般質問)
- 12日~15日 各常任委員会・分科会
- 16日 埼玉県羽生市議会行政視察来市
- 18日 議会運営委員会
- 19日 予算決算特別委員会・本会議
- 22日 本会議・予算決算特別委員会

### 1月

- 8日 長野県上田市議会行政視察来市
- 9日 議会広報編集特別委員会
- 行政改革研究会
- 13日 議会運営委員会
- 企画総務委員会
- 13日~19日 予算決算特別委員会各分科会
- 23日 議会広報編集特別委員会
- 26日 議会運営委員会
- 行政改革研究会
- 27日 福岡県勝山町議会行政視察来市
- 29日 石油基地防災対策都市議会協議会正副会長・監事会及び役員会(大分)

### 次回定例会あんない

3月定例会は2月24日から3月26日まで開催される予定です。

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また本会議のようすはCCS17ch、Kビジョン32chで実況放送されます。

### 表紙の写真

1月10日、富田西小学校区子ども会による新春駅伝大会の様子。

当日は、約250人の子ども達が参加し、元氣よくたすきリレーを行いました。その後、どんと焼きの残り火で焼いたもちを食べ、無病息災を祈りました。



### 編集後記

「風雪に耐えた年輪は木目が細かいが、楽に育った年輪は大雑把で粗い」と言いますが、周南市が大樹と育つためには、今年はまだに正念場、試練の年です。万人に等しく与えられた1年間をどう過ごすかが問題です。今年もどうぞよろしくお願い致します。